

"読む"ことで ひらく世界

学校図書館に関心のある方なら どなたでもご参加いただけます



とらぼんキョーダイ

2025年8月2日〔土〕▶4日〔月〕

神田女学園 中学校 高等学校

千代田区神田猿楽町2丁目3-6
会場校への電話はお控えください



会場アクセス

【主催】学校図書館問題研究会

【後援】文部科学省 東京都教育委員会 公益社団法人 全国学校図書館協議会 公益社団法人 日本図書館協会 公益財団法人 文字・活字文化推進機構

学校図書館問題研究会は、全国の学校図書館に関わる職員や関心のある人たちによる研究団体として1985年に発足し、毎年全国大会を開催しています。今回の東京大会は第40回の記念すべき大会になります。本の街「神保町」で開催される今大会のテーマは「"読む"ことでひらく世界」です。探究的な学びや教育情報化の進展など、学校図書館をめぐる状況が大きく変わるなか、学びの基盤となる"読む"ことの意義を改めて問い直す機会にしましょう。

大会日程

8.2
〔土〕

12:00 受付
*資料販売
13:00 開会行事
総会
14:00 対談
17:00~18:00 資料販売
交流会
20:00

8.3
〔日〕

9:00 受付
*資料販売
9:30 実践報告Ⅰ・Ⅱ
12:30 昼食・休憩
*資料販売
14:00 分科会
17:00 資料販売
18:00

8.4
〔月〕

9:00 受付
9:30 総会・閉会行事
12:30

一部アーカイブ視聴はできますが
リアルタイム配信は
ありません

大会サイト



オプションツアー
詳細はこちら！



アーカイブ視聴期間：8.20〔水〕～9.30〔火〕
マークのあるコンテンツはアーカイブ視聴が可能です



対談



8.2〔土〕14:00～17:00

文学キョーダイからの伝言



奈倉有里氏(翻訳家・ロシア文学研究者) 逢坂冬馬氏(小説家)

2021年の発売当時から話題となった『夕暮れに夜明けの歌を 文学を探しにロシアに行く』(奈倉有里 イースト・プレス)と、『同志少女よ、敵を撃て』(逢坂冬馬 早川書房)は、翌年2月のロシアによる突然のウクライナ侵攻により、さらに多くの人の注目を集めました。しかもこの二人が姉と弟だったことも驚きでした。そこから生まれた『文学キョーダイ!!』(文藝春秋 2023)は、偶然にも「文学ロシア港」で再会した姉と弟の航海日誌のような対談! 東京大会では、同じ家庭で育った二人が何を見て何を感じてきたのか、そして日本も含め、さまざまな国で生まれてくる「文学」を若い世代が「読む」ことの意味について、たっぷり語っていただきます。

定員：600名

実践報告

8.3〔日〕 9:30～12:30



報告Ⅰ 学校司書が「いる」学校図書館へ 小規模校図書館での7年

神奈川県中井町立学校 学校司書 咲間 美聡 さん

人口一万人未満の小さな町の小規模校図書館の実践を報告します。会計年度任用職員でかつ、3校兼務・巡回勤務という雇用状況ですが、まったく学校司書が活用されていなかった時代から、7年かけて「学校司書がいる（居る・要る）学校図書館」を作ってきました。

小中学校勤務の学校司書のほとんどは非正規職員です。私たちは厳しい勤務環境で働きながら、よりよい学校図書館を目指しています。学校には学校司書が「要る」としてもらえるように、私がどんなことをしてきたかお話ししますので、これからの学校司書は何を身につけるべきか、一緒に考えましょう。

定員：600名

報告Ⅱ 探究の道：情報活用能力を育てる学校図書館

同志社女子中学校・高等学校 司書教諭 加藤 美穂子 さん

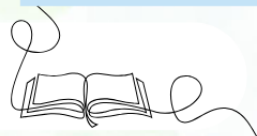
同志社女子中学校・高等学校において、学校図書館がどのような形で探究学習に関わっているかを、事例を元に報告します。

本校では、図書・情報センターを長期にわたって使用する中学2年・中学3年・高校3年の総合的な学習（探究）の時間を中心に、体系的な情報活用能力の育成を目指しています。それだけでなく図書・情報センターでの図書委員会活動やイベントを通じて情報活用能力を育む機会を大事にしています。実践報告では、総合での実践を主として、ICT活用や様々なメディアの活用、教科教員との協力、課題設定から発表までの流れ、学校全体へのアピール、工夫や最近課題と感じていることなどをお伝えします。

定員：600名

分科会

8.3〔日〕 14:00～17:00



1 読む力の発達と学校図書館の関わり方

絵本専門士でもある咲間美聡さんから読む力の発達についての解説を受けた後、「自分が小中学校の司書ならどうするか」というテーマでグループディスカッションを行います。冒頭には実践報告Ⅰについての質疑応答も行います。小中学校の司書や、読む力の発達について興味のある方はぜひご参加ください。

担当：神奈川・福島支部 定員：40名

2 これからの時代に必要な情報活用能力を学校図書館で育てよう

実践報告Ⅱを受けた分科会です。一人一台端末で容易にWeb情報にアクセスできるようになった現在、児童生徒が適切な情報活用能力を身に付けていくことが不可欠です。情報活用のプロがいる学校図書館だからこそ、育成できる情報活用能力があります。情報を使いこなす力を育てる学校図書館のイメージを共有し、それにたどり着くための具体的な方策をみんなで話し合しましょう。

担当：島根・鳥取支部 定員：40名

3 堤未果氏に聞く日本の社会のこれからと学校教育・学校図書館

私たちはどうしても目の前のことに追われ、なかなか社会情勢を意識できません。この分科会の前半では、ジャーナリストの堤未果氏に、社会情勢とその取材や分析についてご講演いただきます。後半は参加者同士で感想を交流し、社会情勢と子ども・学校教育・学校図書館をつなげて考え、大事にしたいことをことばにします。

※前半の講演後の休憩時間に著書を購入するとサインをいただけます（時間の制約上、冊数限定）。

担当：東京支部Ⅰ 定員：600名

4 もっと！ YA海外文学！！

YA（ヤングアダルト）海外文学を普段どれくらい読んでいるでしょうか。YA海外文学をYA時代に読む意味って？ YA海外文学と言えはの金原瑞人さんと、今年「10代がえらぶ海外文学大賞」を立ち上げた三辺律子さんという、お二人の翻訳家からYA海外文学の魅力をうかがい、一緒に考えてみませんか。

＊「これぞイチオシ！」という海外文学1冊を各自持参。

担当：東京支部Ⅱ 定員：40名

5 ノンフィクションの本を語ろう

「ちくまQブックス」などを編集されていた筑摩書房の方に、子どもに手渡す本を作るときに心がけていることや、どのように企画を立て、書き手を選んでいるのかなどを話していただきます。

「資料を知る」ことは学校司書の専門性の一つです。社会科学のジャンルを中心に、ノンフィクションの本について語り合しましょう。

＊おすすめのノンフィクション本を各自持参。

担当：岡山支部 **定員：40名**

7 本の紹介技いろいろ

そもそも本の紹介技って何だろう？ 子どもと本をつなげることだとすれば、学校図書館でやっていることのほとんどすべてが本の紹介技ではないでしょうか？ これまで学図研で考えてきた紹介技あれこれをふまえて、私たちができることを考えてみましょう。今回は子どもたちも巻き込んでできる紹介技について学び、楽しく簡単にできるPOPを実際に作ります。

＊紹介する本を各自持参。

担当：兵庫支部 **定員：25名**

9 学校図書館活動チェックリストを見直す Part 2

利用者にとって使える学校図書館にするには何が必要？ そこから生まれたのが、学図研が作成した学校図書館活動チェックリストです。作成から20年が経ち、昨年の大会から見直しを進めています。今年は「貸出」の項目から。昨年参加していなくても大丈夫！ 各項目の検討を通して、学校図書館のサービスはどうあるべきかを話し合いながら、日頃の図書館活動を振り返ってみませんか。

担当：長野支部 **定員：35名**

11 国立国会図書館国際子ども図書館のサービスを知る

「国立国会図書館 国際子ども図書館」は国内外の児童書とその関連資料に関する図書館サービスを行う国立の児童書専門図書館です。図書館見学をしながら、その使命と役割を学びます。また、中高生向けに行われている「調べものの体験プログラム」では、どのように調べる楽しさを伝えているのかなどをお聞きし、学校でも使えるヒントを得ます。

※昼食後、各自で上野の国際子ども図書館に集合。

担当：大阪支部 **定員：40名**

6 このデジタル時代に出版社は「本」をどう企画しているのか

探究学習においてもデジタルが主になりつつあるこの時代、出版社はどのような思いや戦略で出版を企画しているのでしょうか？ 岩波書店「岩波ジュニア新書」、偕成社「ノベルフリークシリーズ」の担当の方に、出版業界の今を聞きます。その後自分たちでもワークショップを行い、出版企画を立ててみましょう。目指すは学校図書館関係者が企画する本、です。

担当：千葉・鹿児島支部 **定員：40名**

8 授業へのモチベーションを高める 学校図書館からの支援

学校図書館は、「子どもたちの関心を高め、主体的な授業参加へといざなう＝モチベーションを高める」ために何ができるでしょうか。授業の中で教員が日常的に行っている取り組みについて教員の報告を聞いたあと、学校図書館がこれまで行ってきた支援の手法を話し合います。授業利用の提案に向けて材料を参加者みんなで掘り起こしてみましょう。

担当：埼玉支部 **定員：35名**

10 司書教諭課程で学生に身につけてほしいことは何か？

複数の大学で司書教諭課程・学校司書モデルカリキュラムの講師を務めてこられた岡田大輔さんをお招きします。岡田さんが受講者に課している試験問題について、作問の意図や学生の反応などを説明していただいたあと、参加者一同で試験問題をブラッシュアップします。未来の学校図書館員に知っておいてほしい情報について、学校図書館の立場から提案してみませんか。

担当：神奈川支部 **定員：40名**

大会公式アカウント

大会の
最新情報は
こちらから！

Instagram

@gakuto2025tokyo



とらぼん

Facebook

学校図書館
問題研究会
東京支部



X(旧 Twitter)

@gakuto2025



とらりん

申込方法

インターネットからお申し込みください

<https://gakutoken.sakura.ne.jp/2025tokyo/>

大会サイト



申込期間

現地参加：2025年5月19日(月)～6月30日(月)

アーカイブ視聴：2025年5月19日(月)～8月15日(金)

申込の際の注意事項（必ずお読みください）

- ・代金の支払方法はクレジットカードか振込です。
- ・現地参加の振込の方は**申込後7日以内**に振込んでください。
アーカイブ視聴は申込、支払い共に**8月15日(金)**で締め切ります。
振込がなければ申込取消になります。なお、振込の手数料は各自の負担になります。
- ・申込直後に受領メールが届かなければお問い合わせください。
- ・申込後はキャンセルを受け付けられませんので、ご注意ください。

申込サポートデスク 株式会社 コームラ 「学図研第40回東京大会」係

Tel.058-229-5858（代表）（平日 9:00～17:30）FAX：058-229-6001

E-mail：gkt2025@kohmura.co.jp

①大会参加費	現地参加	全国会員 5,500円	現地参加の方は、アーカイブ視聴も可能です。 アーカイブ視聴期間は8月20日～9月30日です。
	※参加時間・日数にかかわらず	全国会員以外 6,000円	
		学生 1,000円	
	アーカイブ視聴のみ	一律 3,000円	
②分科会	先着順に受付。定員に達し次第締め切ります。		
③大会報告集『がくと』40号		1,000円 ※希望者は申し込んでください。	送料込み (全国会員は年会費に含まれていますので、申込の必要はありません)
④交流会参加費	定員 120名 先着順に受付。	6,000円	8/2(土) 18:00～20:00 会場：日本出版クラブ
⑤オプションツアー	先着順に受付。詳細は別紙オプションツアー案内又は大会サイトをご覧ください。		
⑥キャンセル	申込後はキャンセルを受け付けられませんので、ご注意ください。		
⑦大会事務局	佐藤敏子 E-mail: gakutoken2025@gmail.com		

宿泊の斡旋はありません。各自でご手配ください。

東京大会開催にあたって

- ・今大会はリアルタイム配信はありません。アーカイブ視聴をご利用ください。
- ・参加申込時の個人情報は、『がくと』40号の編集も含め、大会に関することに使用場合があります。ご了承ください。
- ・1つのデバイスから複数人でアーカイブ視聴される場合も、必ずお一人ずつの参加申込をお願いします。
- ・アーカイブ視聴の方法は、メールで個別にお知らせします。
- ・総会・実践報告・分科会などの資料は、クラウド上のフォルダにアップします。フォルダへのアクセス方法は7月28日(月)までにメールで個別にお知らせします。ダウンロード・印刷は各自でおこなってください。
- ・会場にWi-Fi環境はありません。
- ・2日目は会場内で食事が可能です。指定の場所をお願いします。ゴミは各自お持ち帰りください。